




Efficient CareControl

インテリジェントなEfficientCareControlが、機器の使用状況や汚れ度合を自動で認識し、最適な洗浄プロセスを最適なタイミングで算出します。洗剤、水、エネルギーは必要最小限量に抑えられます。また、固形ケア剤の特殊成分が水垢の生成を抑え、水垢付着を防止します。

本体の水垢付着状況や汚れの度合いは、『ケア』と『クリーン』の棒状グラフで表示されます。

ケア状態・汚れの状態の表示

step	インフォ/キー	説明
1		キーを押してください。
2		上部のケア状態グラフに、現在の水垢付着状況が表示されます。
3		下部の汚れ状態グラフに、現在の汚れの度合いが表示されます。



針が緑の領域にある場合：

「ケア状態」の表示：水垢の付着は認められません。スチーム発生器の水垢を除去しました。

「汚れの状態」の表示：洗浄されたばかりです。



針が黄色の領域にある場合：

「ケア状態」の表示：水垢の付着はそれほど多く認められません。スチーム発生器に少し水垢が付着しています。

「汚れの状態」の表示：多少汚れていますが、洗浄リクエストがあるまでそのまま調理を続けることができます。



針が赤の領域にある場合：

「ケア状態」：水垢付着が認められます。「CleanJet®+ケア」で洗浄してください。

「汚れの状態」：非常に汚れています。洗浄リクエストされたら、すぐに洗浄してください。



「ケア状態」表示の展開の傾向：改善



「汚れ状態」表示の展開の傾向：悪化

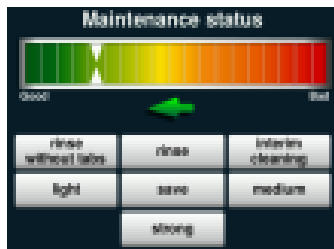
Efficient CareControl

洗浄リクエスト

CareControl（ケアコントロール）は、CleanJet® +ケア洗浄を行うタイミングを自動認識します。庫内の汚れ度合いに加え、休憩時間や就業時間などユーザーの作業習慣も考慮します。推奨される洗浄モードはカラー表示されます。



CleanJet®+ケア洗浄が必要になると、洗浄リクエストが自動表示されます。



推奨される洗浄段階がローターのアイコンでハイライト表示されます。

step	インフォ/キー	説明
1	洗浄 + careしてください	洗浄するようにリクエストされます。
2	CleanJet®+ケア	キーを押してCleanJet®+ケアをスタートするか、『後で』を選択してください。
3	中度	カラー表示で推奨された洗浄段階（例えば『中度』）を選択し、メニューの指示に従ってください。



CleanJet®+ケア洗浄のリクエストは、CleanJet®+ケア洗浄が実施されるまで、定期的に繰り返されます。

Efficient CareControl

洗浄の開始

CleanJet® +careは、ユニットの洗浄とケアのための自動洗浄システムです。
7つの洗浄段階があるので、それぞれの汚れの状態にあわせて洗浄することができます



注意！

- 衛生上の理由から、そして故障を避けるため、ユニットは毎日洗浄しなければなりません。 - 火災の危険！
- ユニットの「スチーム/ボイル」でのみ運転する際でも毎日の洗浄は不可欠です。
- 弊社製の固形洗剤とケア剤のみご使用ください。他社製の洗剤を使用すると、ユニットに損傷をもたらすおそれがあります。二次損害についての保証は負いかねます。
- 洗剤を入れすぎると、泡が立ってしまうことがあります。
- 熱い庫内（60 °C）には絶対に固形洗剤を入れないでください。



- 長い間停止する場合（夜間など）は、扉を少し開けておいてください。
- 調理スペースのパッキンを毎日洗浄すると、製品寿命が延びます。調理スペースのパッキンの洗浄には、柔らかい布と刺激の少ない洗剤を使用してください（研磨剤は使わないでください！）。
- 内側・外側のガラスならびにユニットの外部ハウジングの洗浄には、柔らかく、湿った布が最適です。研磨性や侵食性の洗剤は使用しないでください。洗浄には刺激の少ない、世帯一般用食器用洗剤をご使用になり、ステンレスは専用お手入れ剤で定期的に洗浄してください。ドリップパンと排水溝のすすぎ（卓上型ユニットのみ）。グリル調理を頻繁におこなったり、油脂やゼラチン分を多く含む食材を調理したりする場合は、ドリップパンと排水溝を毎日洗う必要があります。この際、まず排水接続用の洗浄ブラシ（品番：60.75.779）を排水口のマークの部分まで入れます。

1/1ユニット 61と101：マークフラッグまで。2/1ユニット 62と102：プラスチックグリップまで。

損傷を防ぐため、後ろ向きに動かさないでください。その後、排水溝を1～2リットルの温水ですすぎます。ここではハンドシャワーのジェット噴射は使用しないでください。

step

インフォ/キー

説明

Efficient CareControl

step	インフォ/キー	説明
1		キーを押してください。
2	庫内高温	庫内温度が50 °Cを超えると「庫内高温」が表示されます。 「クールダウン」を呼び出してください (「クールダウン」の章を参照)
3	軽度	洗浄段階を選択してください(例「軽度」)。
4	扉を開けて下さい	扉を開けて、容器やプレートを取り出してください。
5		警告! 洗浄・ケア剤を扱う際には手袋をはめてください。 - 化学火傷の危険!
6		表示された数の固形洗剤を袋から出して、庫内エアータンクのくぼみに入れてください。 以下のページの図を参照してください。
7		表示された数のケア剤を袋から出して、ケア剤容器に入れてください。以下のページの図を参照してください。
8	ドアを閉めてください	扉を閉めると、自動的に洗浄が始まります。

Efficient CareControl



警告！

- 洗浄中は扉を開けないでください。洗剤や熱湯が漏れてくる可能性があります。- 化学火傷および熱湯熱傷の危険！洗浄中に扉が開くと、「プー」という号音が発せられます。
- CleanJet[®] +ケア洗浄の中断または終了後、庫内（エアークラッシュの後ろも）をくまなくチェックしてください。残りかすを取り除き、庫内（エアークラッシュの後ろも）を、ハンドシャワーを用いて丹念にすすいでください。- 化学火傷の危険！
- 庫内洗浄の際、外付けの芯温センサーのケーブルが扉から庫内に入らないようにしてください。このセンサーと一緒に洗浄できません。洗浄中の水漏れの原因になります。- 化学火傷および熱湯熱傷の危険！

洗剤取扱いの説明



警告！

固形洗剤ならびにケア剤は適切な安全策を施した上でのみ使用してください。例えば、これらは手袋を用いて触れてください。- 化学火傷の危険！



卓上型ユニット：表示された量のケア剤を引き出しに入れます。



床置き型ユニット：表示された量のケア剤をハッチに入れます。



固形洗剤：袋から取り出します。



固形洗剤をエアークラッシュのくぼみに入れません。



固形洗剤を庫内に入れないでください。- 損傷の危険！

Efficient CareControl



CleanJet® +ケア洗浄の前には庫内ラックまたはモービルオープンラックを規定どおりに庫内に設置する必要があります。

軟水処理された水をお使いの場合は、固形洗剤の推薦量の約半分です。正しい量を入れたにもかかわらず泡が立つ場合は、固形洗剤の量を減らしてください。量を減らしてもさらに強く泡が立つ場合は、サービスパートナー / カスタマーサービスまでご連絡いただき、消泡剤など他の対策についてお尋ねください。

Efficient CareControl

洗浄段階

洗浄ステップ	用途	固形剤
すすぎ (タブ不要)	お湯で庫内をすすぐ。	なし
ケア	脂のない水垢汚れ用 (バイクやスチーム調理後など)。	固形ケア剤
簡単洗浄	『短い洗浄時間』 — あらゆる汚れ向きですが、乾燥やリンスはありません。	固形洗剤
軽度 (クイック)	200°C以下で調理した場合などの軽い汚れ向き。	固形洗剤 & 固形ケア剤
軽度 (節約)	軽い汚れ向き (200°C以下で使用) て、できるだけ化学洗剤や水資源の投入を節約します。	固形洗剤 & 固形ケア剤
中度	ローストやグリルの汚れ向き、例えば鶏肉、ステーキ、魚のグリルなどの調理後に使用。	固形洗剤 & 固形ケア剤
強度	ローストやグリルの強度の汚れ向き、例えば鶏肉、ステーキなどの複数段投入調理後に使用。	固形洗剤 & 固形ケア剤